



求める会ニュー入 No. 936

〒657-0064 神戸市灘区山田町3丁目1-1 神戸学生青年センター内

食品公害を追放し安全な食べ物を求める会

TEL & FAX : 078-822-0810 第2FAX : 078-842-2430

■URL : <http://www.motomerukai.com>■Email : info.motomerukai@gmail.com

食料環境セミナー報告

「遺伝子組換えの安全性を問う
映画『遺伝子組換えルーレット』
～私たちの生命のギャンブル」

2月25日(土)13:00~16:00

オルター・トレード・ジャパン

政策室室長 印鑰(いんやく)智哉さん

初めに映画の上映がありました。遺伝子組換えは怖いものだというような認識しか持ち合わせていない私はギャーというほど恐ろしくなり、上映後の印鑰さんの講演、平賀緑さんとの対談もパニック気分で聞いている状態でした。皆様には実際にこの映画を見ていただけたら、へたな報告よりよっぽど良いのではないかと思います。(DVDが出ていますので求める会で回し見しましょう！)

90年代以降、遺伝子組換え作物(GMO)が急増しました。種類は 1. 農薬をかけても枯れない遺伝子組換え(7~8割) 2. 虫が食べるとコロリと死んでしまうタンパク質を作り出す遺伝子組換え。どんなものに使われているかという、21年間やっていてほんの4種。大豆、トウモロコシ、菜種、コットン、この4種で99%を占める。

どこで作られているか? 南北アメリカ大陸で7割を占め、インド、中国も含め28カ国が生産。一方で禁止する国が増え、EU、ロシアをはじめ38カ国で禁止されています。世界は大きく二分されています。残念ながら日本は禁止されておらず、遺伝子組換えが進む陰な状況。すでに125品種以上の遺伝子組換えを承認しているそうです。

ほぼ4種の作物なのにどうして? 問題はGMOを使った油、加工品です。赤ちゃんの

粉ミルクの成分の大部分が大豆油とはビックリ仰天です。発砲酒(ビールは大丈夫らしい)、お菓子類も。大変なのは家畜の餌。日本の輸入飼料の97%がGMOを使ったもの。その餌で育った牛、豚、鶏。日本では加工品に対しては表記の義務がないので、消費者には見えないですね。辛うじて大豆を使用する豆腐、納豆に「遺伝子組換えでない」の記載があるだけ。

映画では米国内でGMOによって起こる健康異変(慢性疾患、糖尿病、がん、自閉症、自己免疫疾患など)が急増し、医学者、健康問題の専門家、獣医、様々な人たちが解決法などを語っています。アレルギーを持つ子どもの母親たちが組織を結成し、GMO食品の摂取を止め、有機野菜を食べることで子供たちが良くなったと訴えて、企業、小売業に大きな影響を与えています。

この映画の監督は「5%の消費者が遺伝子組換えを拒否すれば消費者の勝利。何故か? それは企業が不買運動を恐れ、使用しなくなるから。日本の消費者が知らないままだと日本が世界の遺伝子組換えのゴミ捨て場になる」と警告しています。

我々ができることは? 印鑰さんは「日本はいま歴史の転換期。消費者が変わらなくてはならない。皆に広く知らしめ、食生活を変えよう。食べない宣言も大事」と言っていました。(センターG 岡部 真理子)

次回食料環境セミナー

「日本人が知らない漁業の大問題」

3月22日(水)10:30~12:00

鹿児島大学水産学部

教授 佐野 雅昭 さん

皆さんへのお便り

(代表)大野 貞枝

長女の出産後の世話を札幌に滞在しています。最寄りの店は自然農法の元祖、福岡正信さんの影響を受けた自然食品の店です。先日、お客さん向けの「おたより」に興味深い一文を載せていました。

「人の健康、安心安全なものを送る。それは天から与えられたミッション（使命）としては、この上ないものだった。まさに誇れるものだった。しかし裏からみれば単なる経済行為にしかすぎないことに気づいた。あの起業の精神と努力は何だったのか。自分たちは今岐路にたたさされている」

35年前に創業した店だそうですが、どこか潔さを感じる文でした。そして「求める会」のことを考えました。

私たちの活動は、母乳に農薬が含まれていることがわかり、農薬を使わない野菜を求めたのが始まりでした。時を経て、今や有機農産物はどこでも手に入るようになりました。くだんの自然食品店ふうにいえば、ミッションは達成されたかに見えますが、実際はグローバル化により食べ物は当時よりもさらに危うい状況です。遺伝子組み換えや添加物の規制がゆるい食べ物が、大量に安く輸入される動きがあるからです。

残念ながら、会員の高齢化で設立当初のような活動はできなくなりました。一方、若い人たちは、地域で有機農法や自然農法の仲間を集め、自分たちの生活サイクルにあう自分たちなりの活動を楽しそうにしています。私たちの当初の精神性を、このたび縁ができた彼らの活動に協力していくことでつないでいけるといいなと思っています。

さて、お知らせしてきましたとおり、4月から「あしの会」に配送委託先が移行します。

協栄運輸さんには長い間お世話になり、現在の芦田さんをはじめとして、歴代の運転手さんには無理なお願いも聞いていただきました。それでも会の赤字を放置するわけにもいかず、やむを得ない変更です。

「あしの会」はもともと、よつ葉牛乳を扱っている会でしたので、丹波乳業の配送業務も一部の地域で担っています。「求める会」の配送をそこに組み合わせることにより協力していただくことになりました。

代表の奥谷さんは兵庫県有機農業研究会の会員です。その会議のあと、配送赤字についてお互いに何かできないかと話し合ったのが今回の委託の発端でした。よく似た活動をしている会であり、私たち「求める会」の当初の精神性を理解し、共有していただけたそうです。しばらくは混乱することがあるかもしれませんが、このたびの移行を長い目で見守っていきたいと思っています。

会員みなさんのご理解とご協力をいただきますようお願いし、春遠からじの札幌からのお便りの筆をおくことにいたします。



2017年冬の地域集会報告

東地区（宝塚・西宮・尼崎・芦屋）3月4日(土)10時～12時 西宮中央公民館 401号室
参加者：橋本慎二、慶子夫妻（市有研）、木下（広田 G）新原（親王塚 G）池田（松波 G）
西（武庫之荘 G）岡（西山 G）東山、岩本（松浜 G）信長、堀口、福井、横山、近藤、今田（逆瀬川 G）=15名

【あしの会への配送移行について】2月全体会で配布された配送曜日と時間の一覧表をコピーして、参加者に確認してもらった。新原さんより、現在荷下ろしをしている場所（店舗の前）に置きっぱなしにするわけにはいかないの、自宅玄関前まで配送してもらえるとありがたいとの希望が出た。

【橋本夫妻の話】一昨年の水害で害獣よけのフェンスが壊れ、獣害が増えた。そして今年の雪害。農業被害が連続して起こった。今まで、こんなことはなかった。雪でつぶれたハウスの再建は米優先で、トマトなど野菜に間に合うかわからない。ハウスの再建には共済から一部、県から半額、助成がある。

獣害は常識では考えられないほどひどくなってきている。キツネによる被害で、小規模の養鶏家はやめていく。害獣除けに犬を求めて、保健所に行ったら、放し飼いはダメ、家から離れた畑につながるのは動物虐待だと言われ、譲ってもらえなかった。ドアを開けたら、シカが10～20頭群れをなして走っているという状態だ。

資材証明（主に肥料）がどんどん細かくなって、有機 JAS の申請が煩雑になってきている。何のための有機 JAS が分からなくなっていており、認証を取る生産者が減ってきている。生産者と消費者が協力して、政府に働きかけをしていかななくてはならないと思う。

【地域集会について】あしの会の配送移行で、いろいろ問題も出てくると思うので、これまでどおり、地域集会はあったほうがよい。ほかの地域の事情も知りたいので、今回のように広い範囲で集まった方がいいと思う、との意見が出た。（逆瀬川 G 今田 裕子）

中地区（東灘・灘・中央・兵庫・長田）3月7日（火）10時～12時 学生青年センター
参加者：市有研＝大谷さん 橋本慶子さん 求める会＝飛田、花岡、福島、門間、正井、吉川、茂松、山崎、高橋、鹿嶋、岡、飯田、岡部

いいお天気で暖かと思ったけれどまだ3月、寒い中、15名が集まりました。

【大谷さんの近況報告】1月の大雪被害、ビニールハウス倒壊のこと。3月末より野菜が少なくなるが、配送が変更になる4月の第1週は通常通り出荷したいなど。

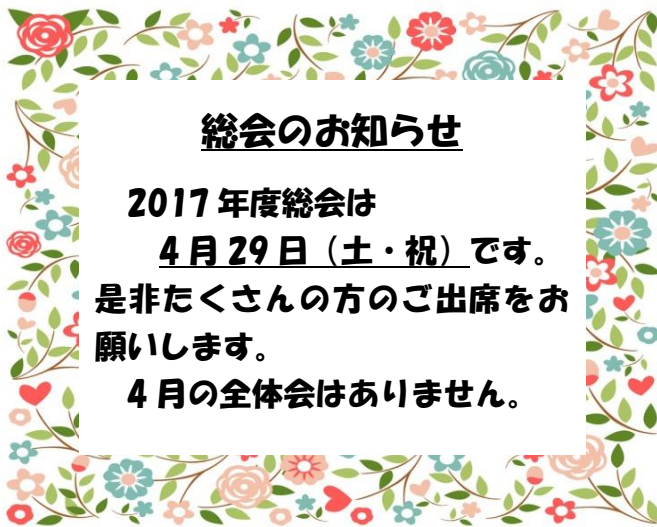
【橋本さんの近況報告】2014年の大災害から、ここ半年ごとに酷い災害が起り、ホントがっかりさせられている、と。今年も獣害が多く、猪、鹿、ヒヨドリ、春先にはキツネが心配。若手の猟師さんが檻を仕掛け捕獲に一生懸命。猟期が終わるまでにどれだけ効果があるか？ 行政の柵補修遅延、鹿のペットフード工場、ジビエ料理とお店の話。鹿の数増大は里でカロリー大の食事が繁殖を増やした？ とのお話でした。

生産者の大変なご苦勞を今さらながら感じました。農業は毎日が戦いですね。

お野菜のおいしい簡単調理法、保存方法など、次々話が弾みました。ニンジンジュースに。切干ニンジン、輪切りの切干大根。大根は切って冷凍し（味が良く染みます）必要な分だけ煮る。四角豆は天ぷら。葉物野菜はドレッシングでサラダ（ゴマペースト、ポン酢、変化あり美味）。

4月からあしの会への配送移行に伴い、生産者の方も出荷時間が変更になります。求める会と同様、生産者の方も高齢化。若い方を入れ緩やかな移行が出来ないだろうか、有機 JAS 認定は年々馬鹿げた膨大な書類提出で煩雑になり、生産者の負担が大きいという話も。

生産者との楽しいひと時をすごしました。（センターG 岡部 真理子）



総会のお知らせ

2017年度総会は

4月29日(土・祝)です。

是非たくさんの方のご出席をお願いします。

4月の全体会はありません。

お茶・油の配送日

4月からお茶・油の配送は第3週目になりますので、ご注意ください。

事務所よりお願い

3月21日(火)は自動引き落とし日です。(20日は祝日)。決算月ですので、その日までに必ずご入金をお願いします。



豚肉の配送曜日に変更があります

4月から配送が「あしの会」に移行するため、野菜配送日に合わせて豚肉・牛肉の配送曜日が変わるグループがあります。

また、数量を平均化する為、野菜配送日と違う曜日になるグループもあります。

ご了承ください。

どうしてもこの曜日では困るグループはご連絡ください。(■が変更になるグループです。)

配送日は 火曜コース…第三火曜日
木曜コース…第一木曜日
金曜コース…第二金曜日



※牛肉に関しては次回お知らせします。

	火曜コース	木曜コース	金曜コース
1	逆瀬川D	中里町	未成
2	逆瀬川(多胡)	惣山町	親王塚
3	逆瀬川(魚井)	つつじが丘	東白川台
4	逆瀬川(吉村)	青山台	本多間
5	逆瀬川(田中)	塩屋台(加藤)	北須磨C
6	逆瀬川(福井)	千鳥が丘	西山町(本岡)
7	逆瀬川C	東仲ノ町	西山町(笠水)
8	広田町	魚住	都由乃町
9	津門	加古川東	都由乃町②
10	住吉台②	加古川北(小田)	青谷(三浦)
11	松浜	逆瀬川(今井)	福知山
12	松浜(茶家)	栗生新家	朝霧
13	御影山手	竜七	大久保
14	センター	潮見台	大久保(村川健)
15	篠原北町	宮川町	大久保(庄谷)
16	赤松町	西山町	大久保(梅村)
17	住吉台(仲本)	夢野町	大久保(梅村②)
18	鴨子が原	下山手	藤原台
19	松浜(岩本)	鶴甲団地	鈴蘭台
20	中山(溝上)	千葉(原田)	ももやま台
21	未成(増田)	平岡町	高砂(藤原)
22	枚方	西落合	月見山本町
23	本一		青谷②
24	本一(藤田)		青谷(翼)
25	本一②		青谷(照)
26	本一③		桜木町
27	松浜(尾園)		ジェームズ山
28	中山(児玉)		野田通り
29	ロココ		

食料環境セミナー

「日本人が知らない漁業の大問題」

3月22日(水) 10:30~12:00

鹿児島大学水産学部 教授

佐野 雅昭さん

会場：神戸学生青年センター

参加費：600円

※託児あり(無料) 前々日までに要予約

Tel 078-851-2760

主催：(公財) 神戸学生青年センター